令和5年度　指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1　施設の概要等

施設名	府中市地域産物加工販売施設	
所在地	府中市上下町矢野662番地	
設置目的	地域の林業振興と地場資源活用による地域特産物の加工販売の促進	
施設・設備	地域産物加工販売施設ほか	
指定管理者	R5.4.1　～　R6.3.31	(一社)府中市観光協会

2　施設利用状況

	年度	目標値［事業計画］	入場者数	対前年度増減	対目標値増減（達成率）		
利用状況	R4	2,300 人	2,467 人	901 人	167 人	107.3	%
	R5	2,467 人	3,041 人	574 人	574 人	123.3	%
	R6	人	人	人	人		%
	R7	人	人	人	人		%
	R8	人	人	人	人		%
増減理由							

3　利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	実施なし	
	【主な意見】	【その対応状況】

4　市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報(必要随時)	×	

管理運営会議 0　回　会場	【特記事項等】 ・運営上で協議が必要な事項が発生した際は、随時に協議を行い解決した。
現地調査 (実施月)	【指定管理者の意見】
1月　2月　3月　4月　5月 6月　7月　8月　9月　10月 11月　12月	【市の対応】

5　市委託料の状況　　（単位：千円）

	年度	金額	対前年度増減		年度	金額	対前年度増減
市委託料（決算額）	R4	6,671	394	料金収入（決算額）	R4	0	0
	R5	7,013	342		R5	0	0
	R6				R6		
	R7				R7		
	R8				R8		

6　管理経費の状況　　（単位：千円）

項目			R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入	市委託料	6,671	7,013	342	運営経費増による増
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	3,445	4,069	624	市電気高騰支援金減
		計（A）	10,116	11,082	966	
	支出	人件費	5,439	5,780	341	昇給による給料等増による増
		光熱水費	590	590	0	
		設備等保守点検費	0	0	0	
		清掃・警備費等	0	0	0	
		施設維持修繕費	118	25	-93	自主事業による減
		事務局費	903	968	65	
		その他支出	2,255	2,069	-186	諸経費の減
		計(B)	9,305	9,432	127	
	収支①(A-B)		811	1,650	839	
自主事業	収入（C）		0	0	0	
	支出（D）		0	0	0	
	収支②(C-D)		0	0	0	
合計収支（①＋②）			811	1,650	839	

※1　利用料金制
公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2　自主事業
指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7　管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総　　括	四季の里のレストラン的機能を果たし上下産そば粉を利用した手打ちそばの提供を中心とした運営を行っており、地元農産物の奨励と地産地消を推進した。 また、通常は土日祝日の営業であるが、あやめまつり期間は平日も運営、来て皆祭の際にはイベントブースに出展するなど、積極的な運営を心がけ、大幅な売上増（215.9％）を果たした。	地元栽培のそば粉を利用したそばの提供も好評であり、自主事業展開が評価できる。 また、隣接する四季の里でのイベントとの相乗効果で施設利用者数も増えている。 日常の施設管理も十分行われている。 しかし、そば処四季の営業が土日祝日しか行われていない上、木工作業室、木工作業機械を活用した事業が行われていないことから、施設が十分活用できていない。 民間のアイデアやノウハウを導入し、利用促進、誘客に向けた取組が必要である。

8　今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	市
課題と対応	○手打ちそばがメインであるが、現代のニーズに合わせたメニューの提供が必用である。 ○キャンプ場利用者や観光客への利用拡大に向けた運営方法の構築が必用である。	○隣接する四季の里でのイベントの在り方とともに、今後の施設利用者数増加を図るための課題を整理し、地域や指定管理者と協議する必要がある。 ○キャンプ場利用者や観光客のニーズに対応し、施設の使用拡大を図っていただく。